

白樺芸術祭ABIKO 第2回企画

旧武者小路実篤邸跡

朗読と箏の マリアージュ

志賀直哉や武者小路実篤ら白樺派が暮らした我孫子の
記憶を、いまの表現と地域の営みに重ねる
白樺芸術祭ABIKO。

参加無料

第2回では、旧武者小路実篤邸跡を会場に朗読会を開催。
白樺派の文学と、現在の手賀沼から生まれた物語を同じ
場所で読み、約100年前と今日の我孫子を
「言葉」と「風景」でつなぎます。

予定朗読作品

絵本『大うなぎの神さま』（絵・渋田薫／文・野中真規子 白樺芸術祭関連作品）
志賀直哉 随筆『赤い風船』／武者小路実篤 詩『今の自分の仕事』 他／志賀直哉『転生』

朗読 秋田桂子



東京都の私立・公立幼稚園に勤務した後、劇団風の子国際児童演劇研究所の第25期生となり卒業。在職から『おおきなかぶの会』会長として絵本の研究サークルを続けながら人形劇団『くさばえ』を創立、現在も公演・講演活動を行う。

箏 岡村愛



東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院音楽研究科修了。上野旧奏楽堂「彩」第一回コンサートで皇后陛下の御高覧の栄に浴す。現在は演奏活動のほか、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校の教員として指導を行っている。

朗読 山田裕



学習院大学理学部物理学科卒業後、日揮などを経て、現在は現代アートの収集を行う。母方の祖父が志賀直哉であり、幼少期から学生時代まで直哉と過ごした日常の思い出などをメディアやトークイベント等で発信する活動も行っている。

司会・朗読 野中真規子（文化ディレクター・文筆家）

日時

令和8年（2026年）11月14日

午前の部 11時～12時（10時45分開場）

午後の部 13時30分～14時30分（13時15分開場）

会場

旧武者小路実篤邸跡 邸宅内

千葉県我孫子市船戸2丁目21-9 ※駐車場はありません。
北柏駅南口より徒歩約18分 我孫子駅南口より徒歩約28分

申込

事前申込不要・各回先着20名（＋立見可）

参加費

無料

お問い合わせ shirakaba.art.fes@gmail.com（白樺芸術祭ABIKO実行委員会）

主催 | 白樺芸術祭ABIKO実行委員会（Abiko-A-life・我孫子市・他）